

●お願い…出隅以外の組立て・取付けおよび施工上のご注意・製品の取扱いについては、ナーラテラス本体に同梱してある取付け説明書を併用してください。

■部材の加工・取付け上のご注意

- ①下表は前枠を規格寸法で施工する場合を想定して、各部材の寸法を設定してあります。
- ②前枠・垂木がけ・野縁の垂木取付け穴は下図姿図にしたがって、右図加工図上の▲印の位置に加工してください。
- ③現場・躯体の状況により、各部材の寸法は異なる場合がありますので、施工の際は調査・検討の上、加工してください。
- ④1間×6尺は製作不可です。
- ⑤間口2.5間ペースで組立てる場合、および1500形の場合は、必ずけた付きにしてください。

■部材の加工方法

●専用部材寸法

出幅	名称	出隅棟木A	出隅棟木雨どい	出隅棟木カバー
3 R		1668.5	1605.5	1658.5
4 R		2097	2034	2087
5 R		2525	2462	2515
6 R		2946	2883	2936

注) 左記部材は4尺・6尺用が規格サイズです。3尺・5尺用の場合は、切詰めてください。

●各部材寸法算出公式・寸法表(各記号には下表の数値を代入してください。)

- ▶ 垂木がけ = $l - D - A + 277$
- ▶ けた = $l - A + 46$
- ▶ 野縁 = $\frac{n - 18.86}{1.0155} + l - B$
- ▶ 垂木 = $T - 71.1 - (t - 52.5) \times 1.0155$

間口	l			出幅	A	D	n			B	t	T
	関東間	関西間	九州四国間				n ₁	n ₂	n ₃			
1間	2050	2250	2145	3R	356.5	885	613.5	-	-	959.5	-	1211.5
1.5間	2955	3205	3100	4R	356.8	1185	466	1066	-	1259.8	810	1516.5
2間	3850	4160	4055	5R	357.2	1485	618.5	1218.5	-	1560.2	925	1821.5
2.5間	4805	5255	5045	6R	352.7	1785	468.5	1068.5	1668.5	1855.7	950	2121.5

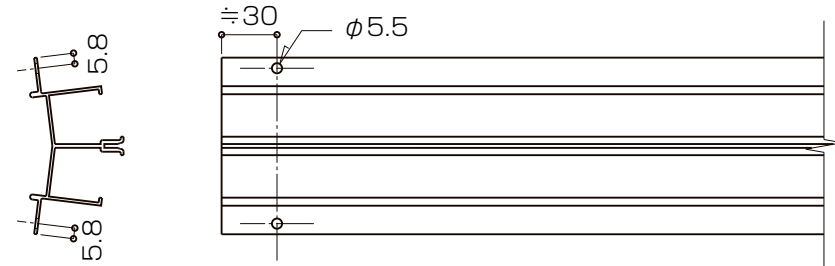
■作業手順

- 1 柱位置出し・基礎穴掘り
- 2 垂木がけの取付け
- 3 棟木への部品取付け
 - 1500形の場合
 - 4 けたコーナー継手と柱の取付け
 - 5 棟木とけたの取付け
 - 600形の場合
 - 4 けたコーナー継手と柱の取付け
 - 5 棟木とけたの取付け
- 4 棟木(柱台座)と柱の接続
- 5 棟木とけたの取付け
- 6 棟木と垂木がけの接続
- 7 前枠の取付け
- 8 棟木雨どいの取付け
- 9 垂木・野縁の取付け
- 10 前枠雨どい部のシーリング
- 11 波板・棟木カバーの取付け

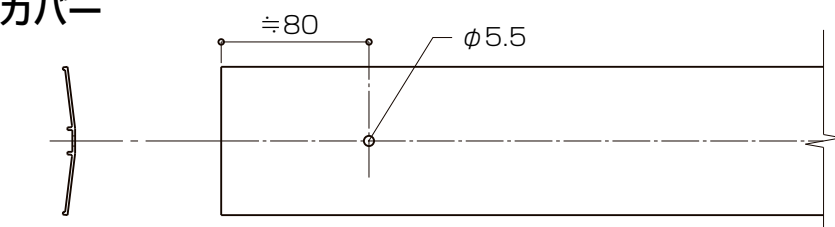
■部材の加工

●出隅棟木雨どい(出幅3尺・5尺の場合)

注) 躯体側(欠きのない側)から切詰めてください。

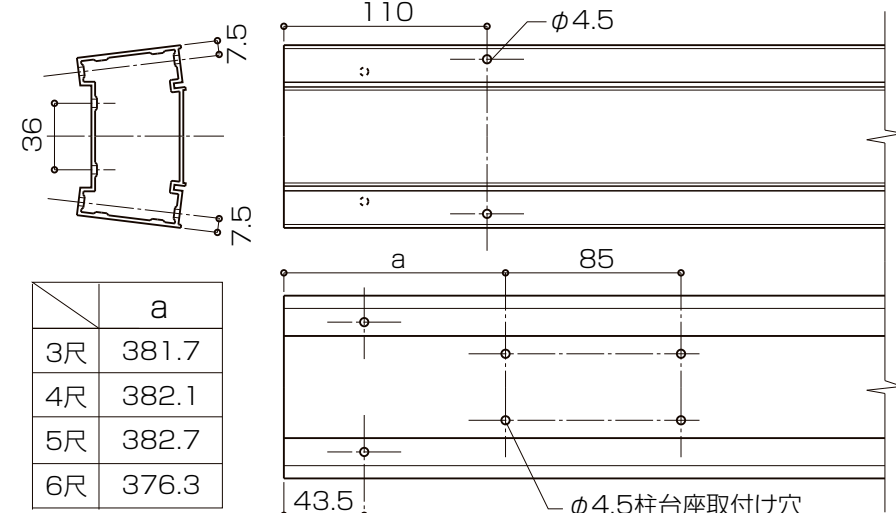


●出隅棟木カバー

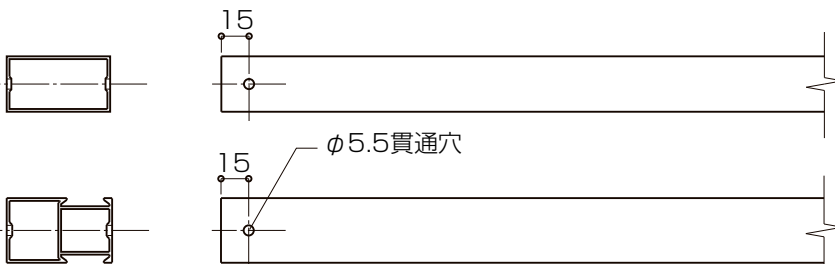


●出隅棟木A(出幅3尺・5尺の場合)

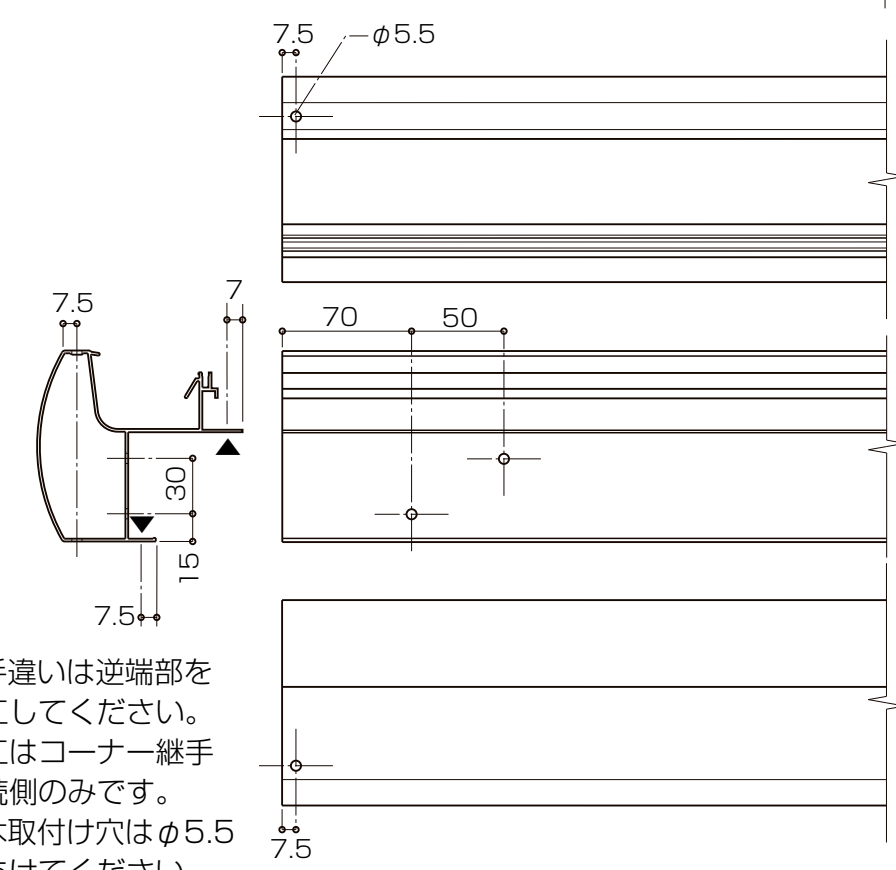
注) 前枠側(端部に長穴のあいていない側)から切詰めてください。柱台座取付け穴は600形のみ加工してください。



●垂木 注) 躯体側から切詰めてください。



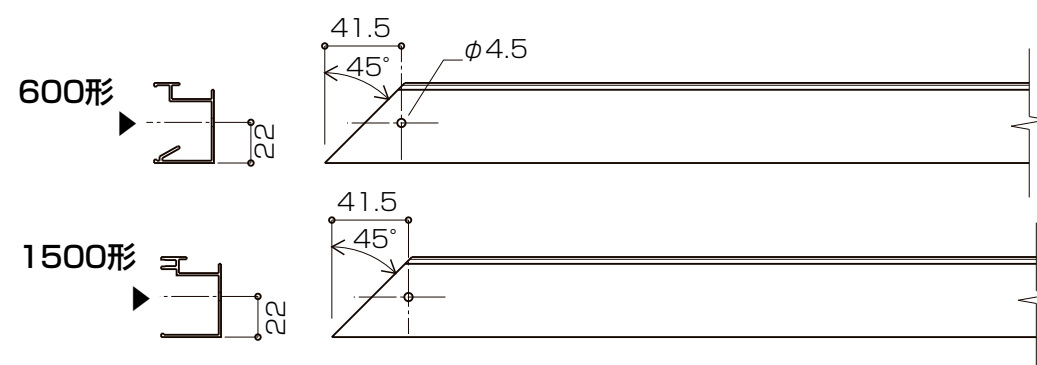
●前枠



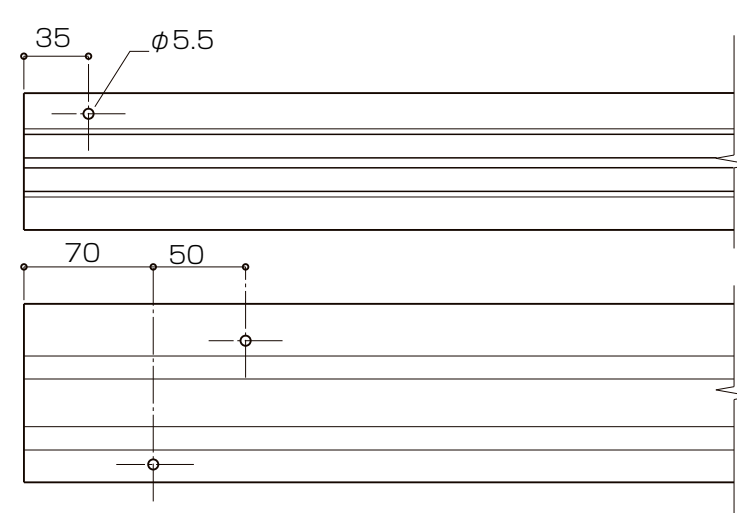
注1) 勝手違いは逆端部を加工してください。加工はコーナー継手接続側のみです。
注2) 垂木取付け穴はφ5.5であけてください。

●野縁 注1) 勝手違いは対称加工してください。

注2) 垂木取付け穴はφ4.5であけてください。

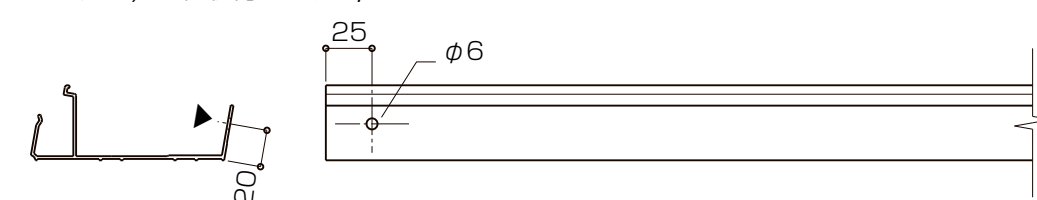


●けた 注) 勝手違いは逆端部を加工してください。



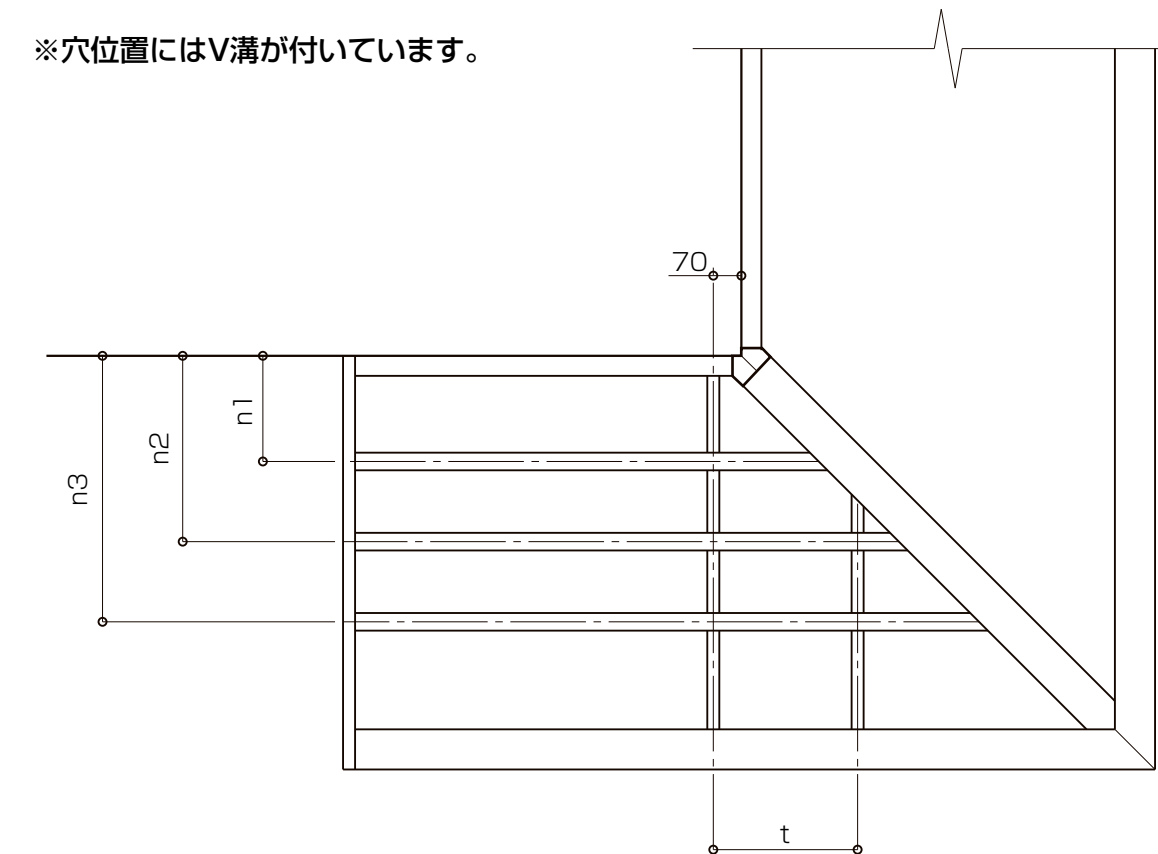
●垂木がけ 注1) 勝手違いは逆端部を加工してください。

注2) 垂木取付け穴はφ6であけてください。



●柱(コーナー部) 600形: サマンテラス用の柱をGL側より12.5mm切断するか、又は埋め込みを12.5mm深くしてください。1500形: 規格品と同じ寸法です。

*穴位置にはV溝が付いています。



■姿図

